

整理収納コラム「1箇所10分からの片付けで心地よい家に！！」



作業後の変化ご紹介

出しっぱなしのキッチンツールを②の引き出しにしまいたいがモノで埋め尽くされ入らない→引き出しを整理し不要な物を取り除き配置も少し変更。

引き出しの中に戻れるスペースができた。出しっぱなしが改善し、掃除が楽に。



どこでも使える基本の作業 まずは”分ける”だけでOK

中身を全部出して
使う・使わない・迷っている の3つに分類

- よく使うものは取り出しやすい場所に
- 時々使うものは、少し奥に収納する
- 使わないものは、手放す
- 迷っているものは期限を決めて迷いBOXに一時保管し、期限が来たら必要か見直す
(段ボールに中身の分かるメモを貼って保管すると使う時の探す手間軽減。この箱何？防止)

全部中身を出すメリット

引き出しをリセットしたいときは、分別のしやすさ、戻しやすさから全部中身を出す。がおすすめですが、ちょこっとだけ更新したい気分の際は、スプーンだけとか作業を小さくするのもあり。

もっと簡単に10分

部屋や床に転がってるもの、5個拾って定位置に戻すorいらぬものはさよなら。ちょっと乱れが整って気が楽に。

整理収納アドバイザーの沙紀です。今回は記念すべき1回目の整理収納のコラム。「片付けたいけれど、どこからはじめていいかわからない」、「どれくらい作業するのがいいかわからない。」など苦手意識を改善するための行動にスポットを当て初めての方や一度りセットしたい方が手軽に始められる「1箇所10分から始める整理収納」。間取りや収納量だけでなく、日々の使い方を見直すことで空間をもっと心地よくしませんか。

”初めの1歩は気軽に始める！！”

引き出し全部ではなく、「よく使う1段」だけで十分。小さく終わる経験を重ねて片付けは「大変なもの」から「進められるもの」に変えていこう！！
少しの変化は物足りなさを感じることもありますが、1つのアクションを軽やかにすることで楽に作業が進むようになるメリットがあります。今より少し快適に！を意識して気軽に取り組もう！

整理と収納の基本

- 1 整理：いる/いらぬ を分ける
 - 2 収納：残したモノを使いやすくしまう
- ※ 一番最初に収納グッズは買わないで始めるがコツ

※整理することで、選抜されたものが残るので、物量が増える。意外と別の場所に収納した方がよいものもあるのでまだ仮の状態。整理前の全体が見渡せない段階で収納アイテムを追加してしまうと、買い足したアイテムが不要になってしまうこともあるので、先に買うのは我慢。

”叶えたい未来をイメージしてゴールを設定”

左の写真は私史上一番使いやすくなったキッチンのようなすです。
片付けで大事にしたいことは、やる気を出すエネルギーを持つこと。

叶えたい理想の空間をイメージしてゴールを設定、モチベーション維持へ！

「子供たちと一緒に調理しやすい、片付けやすいキッチンにする」
以前の私は、飾る収納・出しっぱなし収納に憧れがあり、物を増やした結果、調味料やキッチンツールが場所を取り調理時の油跳ねが出しっぱなしアイテムを汚していく。子供たちが一緒に調理となると作業スペースが狭くなり喧嘩が始まる・刻んだ野菜も色々な箇所に転がって掃除エリアが拡大。後片付けも手間が増えるし、包丁や熱い鍋などキッチンには危険がいっぱい。安全確保のためにも、楽しく過ごす為にも作業スペースを最大限確保した掃除しやすい片付けやすいキッチンにしたい！！と片付けの活力にしたのです。迷ったとき、きっと役立つ、活力になるゴール設定。あなたの叶えたい未来を想像して作業に取り掛かりましょう！

今から始めるミニプラン（合計30分）

タイマーセットして挑戦！！

- ①まず、コンロ横の引き出しを1つだけ全部出す（15分）

- ☐ 使う・使わない・迷っている の3つに分類
- ☐ 次に、使うに分類された物を更に分類
「よく使う」「時々使う」に分ける
- ☐ 引き出し内をサッと拭き掃除

- ②「よく使う」から戻す。（5分）

手前によく使う物、奥に「時々使う物」を置くと出し入れが楽に。

- ③迷う物は迷いBOXを作って保管期限を書いて保管。（5分）

- ④「調味料」など引き出しのラベリング1枚で家族が戻せる仕組みへ。
マスキングテープに記入すれば後から張り直し可能。（5分）

収納グッズは整理が終わってから検討で大丈夫。

注意したいことは、自分の物以外は勝手に捨てない！！（次回解説）

完璧は目指さなくて大丈夫。まずは「1箇所10分」から心地よい家づくり始めてみてください。

Instagram (saki_2525kitai)日々の片付け公開中です。